

取扱説明書

鋳鋼製リフト逆止弁

PV-840BEシリーズ

目次

	ページ
1. 概要 2
2. 製品名 2
3. 使用範囲 2
4. 構造と特長 3
5. 運搬および保管 3
6. 配管要領 3
7. 使用上の注意 3
8. 点検および保守 4
9. 分解・組立要領 4
10. 交換部品 5
11. アフターサービス 5
12. 構造図 6

はじめに

この度は、宮入バルブの製品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。本取扱説明書を良くお読みになり、内容を理解された上で本機器をご使用くださいますようお願い致します。また、必要に応じて利用できるよう、お読みになった後も手元に置かれることをお勧め致します。

1. 概要

逆止弁は、主に高圧ガスプラントの配管系に取り付けて、流体の一方方向の流れだけを許し、逆方向の流れを止める作動を自動的に行うバルブです。

2. 製品名

製品名	鋳鋼製フランジ形逆止弁		
型式	PV-840BE		
サイズ	15A、20A、25A、40A、50A	65A、80A	100A
図面番号	B-47742	B-40537	B-40534

製品名	鋳鋼製バットウェルド形リフト逆止弁	
型式	PV-840BEBW	
サイズ	15A、20A、25A、40A、50A	80A、100A
図面番号	B-47742	B-40537

製品名	鋳鋼製ソケットウェルド形リフト逆止弁	
型式	PV-840BESW	
サイズ	15A、20A、25A、40A、50A	
図面番号	B-47742	

3. 使用範囲

取付け前に、必ず次の仕様を確認の上ご使用下さい。

- (1) 使用流体 可燃性ガス、毒性ガス
- (2) 設計圧力 2.4MPa
- (3) 設計温度 -5～120 °C
- (4) 耐圧試験圧力 3.9MPa
- (5) 気密試験圧力 2.4MPa
- (6) 本体材料 SCPH2
- (7) 接続仕様
 - ① フランジ式 (JIS20KRF)
 - ② 突合せ溶接式(バットウェルド形)
 - ③ 差込み溶接式(ソケットウェルド形)

注意

これは標準仕様です。使用範囲が本仕様と異なる場合は、ご注文成約時の図面に記載されている仕様及び製品の検査成績表の内容と照合し、仕様の範囲内であることを確認した上でご使用ください。

4. 構造と特長

接続仕様の違いにより外形は異なりますが、内部の構造及び特徴は同じです。

- (1) このバルブは流体の流れる力により、弁体が持ち上げられ開となり、逆流が起きたとき弁体が下がり、閉となる構造となっています。
- (2) シート気密は逆圧により保持され、シートパッキンは PTFE を使用しておりますので、わずかな逆圧で逆流を防止することができます。

5. 運搬および保管

- (1) バルブを落とす、倒す、投げる、引きずる等の乱暴な取り扱いで、強い衝撃を与えないでください。漏れ、故障の原因となります。
- (2) 運搬及び保管は、荷姿のまま、ゴミ、ほこり、雨等がかからないようにしてください。
- (3) バルブフランジのパッキン座面には、フランジガードが貼ってありますが、砂、ゴミ等が入り漏れ及び故障の原因となりますので、取付け直前まで取り外さないでください。また、配管取付けの際は必ず取り外してください。

6. 配管要領

- (1) 取付けの際は、配管内およびフランジ面の切粉、溶接スパッタ、スケール等を充分清掃してください。
- (2) 逆止弁には流れ方向がありますので、ボディの表示によって方向を確かめて配管してください。
- (3) 取付け姿勢は水平とし、ボンネット側を上に向けてください。
- (4) バルブを配管する際には、フランジのパッキン座面に貼ってあるフランジガードを必ず取り外してください。
- (5) バルブフランジと配管フランジの間に、流体に適合したシール剤を塗布したガスケットをずれのないように正しい位置に挟み込んで、取付けてください(フランジ式)。
- (6) フランジボルトは、対角線上のものから交互に均等な力で締め付け、片締のないように注意してください(フランジ式)。
- (7) 溶接取付の場合は適正な技術(資格)を有する溶接施工者が、適正な溶接施工法により、正しく溶接を行ってください(溶接式)。
- (8) バルブは自重および操作時の力によって、配管または取付け部に無理な荷重がかからないように、バルブまたは配管を支持してください。
- (9) バルブは、配管の膨張、収縮、地盤沈下、地震などによって無理な力を受ないように取付けてください。

7. 使用上の注意

- (1) 逆止弁には流れ方向がありますので、ボディの表示により方向を確かめて、間違いの無いように取付けてください。
- (2) 取付姿勢は水平方向のみですので、垂直配管には使用できません。

8. 点検および保守

設備の運転開始時、運転終了時、および運転中に以下のような点検を行ってください。

- (1) ボンネット部からの漏れは無い。漏れがあった場合は、ボンネット部の増し締め、または分解組立要領にしたがってガスケットを交換してください。

その他、高圧ガス保安法の適用を受ける場合は、法規上の規定に基き検査を実施してください。

9. 分解・組立要領(構造図を参照してください)

9.1 分解要領

9.1.1 PV-840BE	50A 以下
PV-840BEBW	50A 以下
PV-840BESW	50A 以下

- (1) 残ガスの置換を行ない、内圧がゼロであることを確認して、配管よりバルブを外してください。
- (2) ⑧押エナットを緩めて、⑦ボンネットを外し、⑥ガスケットを外してください。このとき、ボンネットおよびボディのシール面に傷を付けないように注意してください。
- (3) ②弁体組品を取り出します。
- (4) ⑤U-ナットを緩めて、④ワッシャ、③シートパッキンを分解します(弁体が PTFE の一体削り出しのものには、U-ナット、ワッシャ、シートパッキンは装着されていません)。

9.1.2 PV-840BE	65A、80A、100A
PV-840BEBW	80A、100A

- (1) 残ガスの置換を行ない、内圧がゼロであることを確認して、配管よりバルブを外してください。
- (2) ⑩ナットを外して、②ボンネット、⑦ガスケットを外します。③ブッシュは、通常分解する必要はありません。
- (3) ④弁体組品を取り出します。
- (4) ⑥U-ナットを外して、⑤下部ガイド、⑧シートパッキンを外します(弁体が PTFE の一体削り出しのものには、U-ナット、ワッシャ、シートパッキンは装着されていません)。

9.2 組立要領

- (1) 分解した部品のゴミ、錆などは十分に清掃し、有害な腐食、変形、傷等のあるものは新品と交換してください。
- (2) ガスケットおよび、シートパッキンは新品と交換してください。
- (3) ガスケットには、流体に適したシール剤を塗布してください。
- (4) 上記のパッキン類は弊社の純正部品を使用してください。

10. 交換部品

分解検査の際に交換するパッキン部品類は、純正部品を使用してください。
詳細については、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせください。

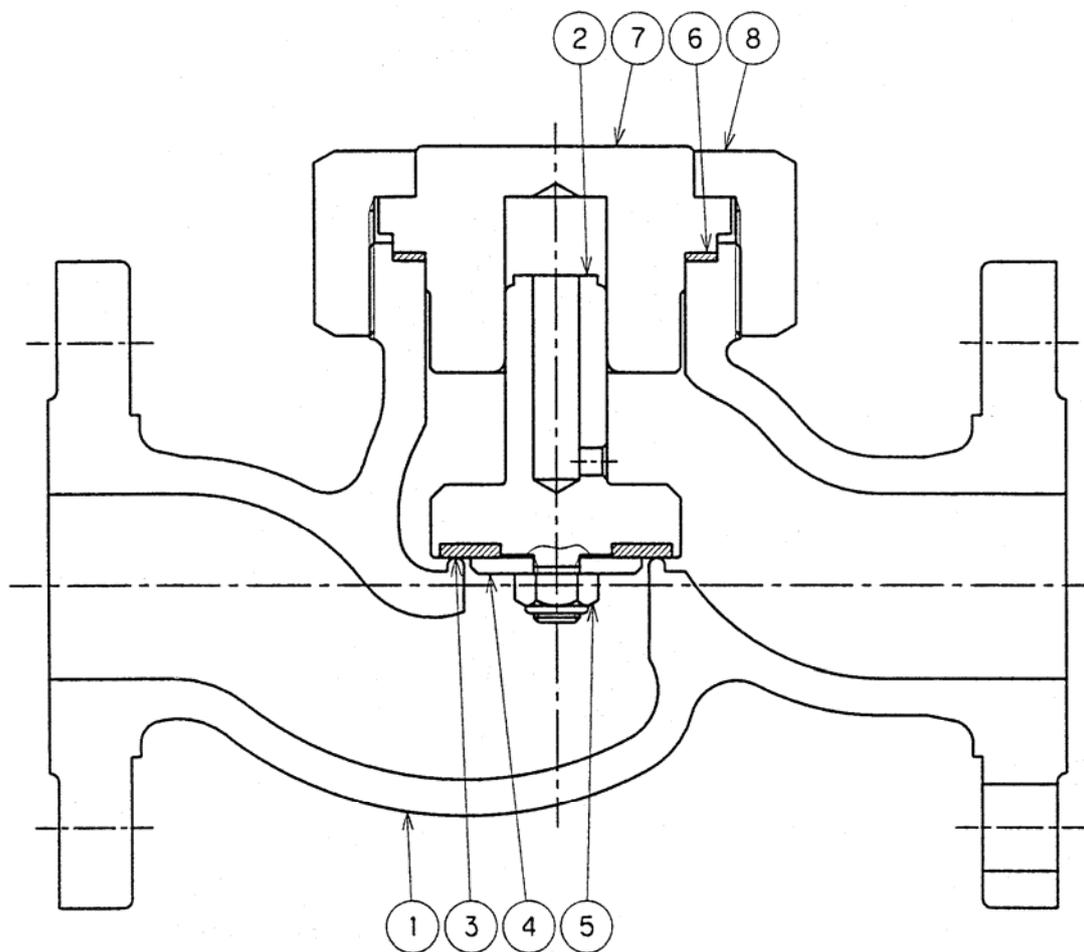
11. アフターサービスについて

- (1) 製品に異常が生じた場合
- (2) 製品の修理が必要な場合
- (3) 交換部品が必要な場合

上記のご相談は、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせください。
※型式・サイズ・図面番号等をお知らせください。

12. 構造図

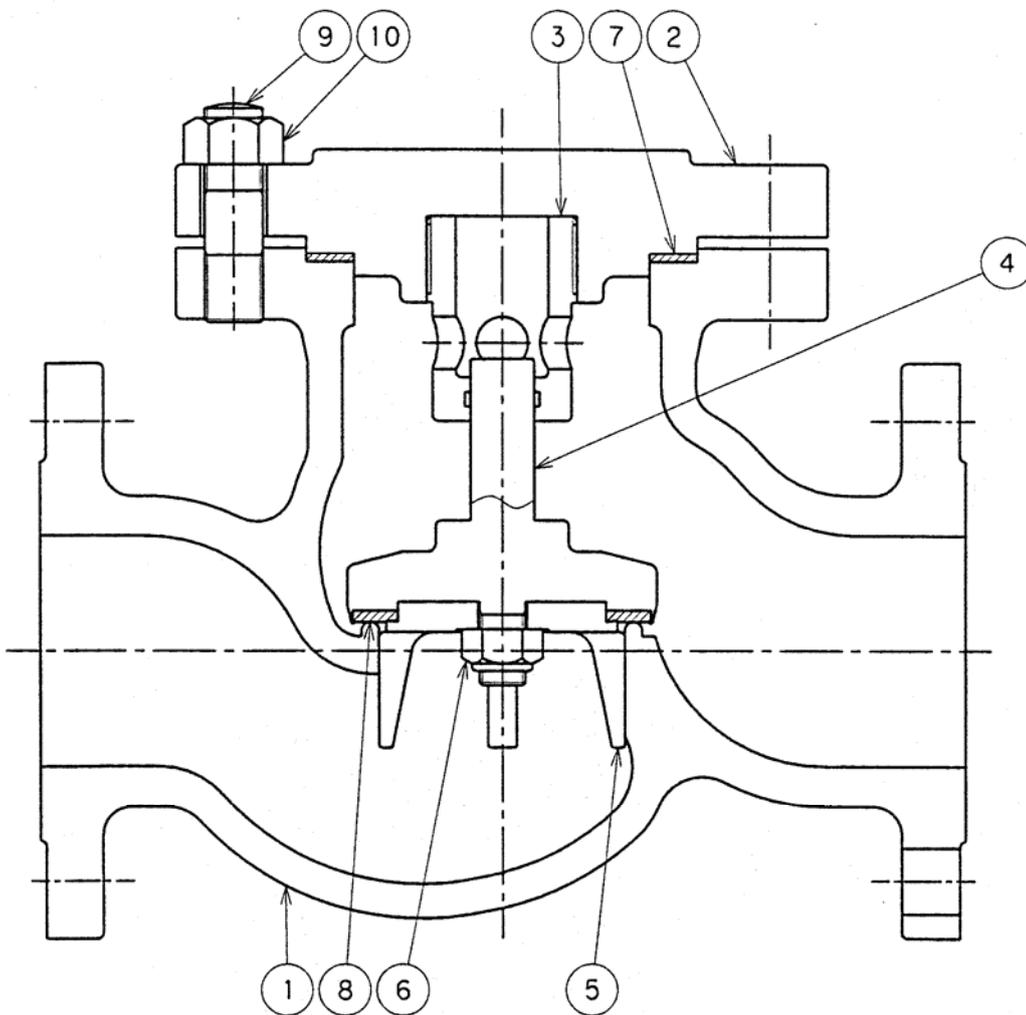
(1) PV-840BE(50A 以下)



(2)

8	押エナット	S25C	1	
7	ボンネット	S25C	1	
6	ガスケット	PTFE	1	
5	U-ナット	SUS304	1	
4	ワッシャー	SUS420J2	1	
3	シートパッキン	PTFE	1	
2	弁体	SUS420J2	1	
1	ボディ	SCPH2	1	
No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS

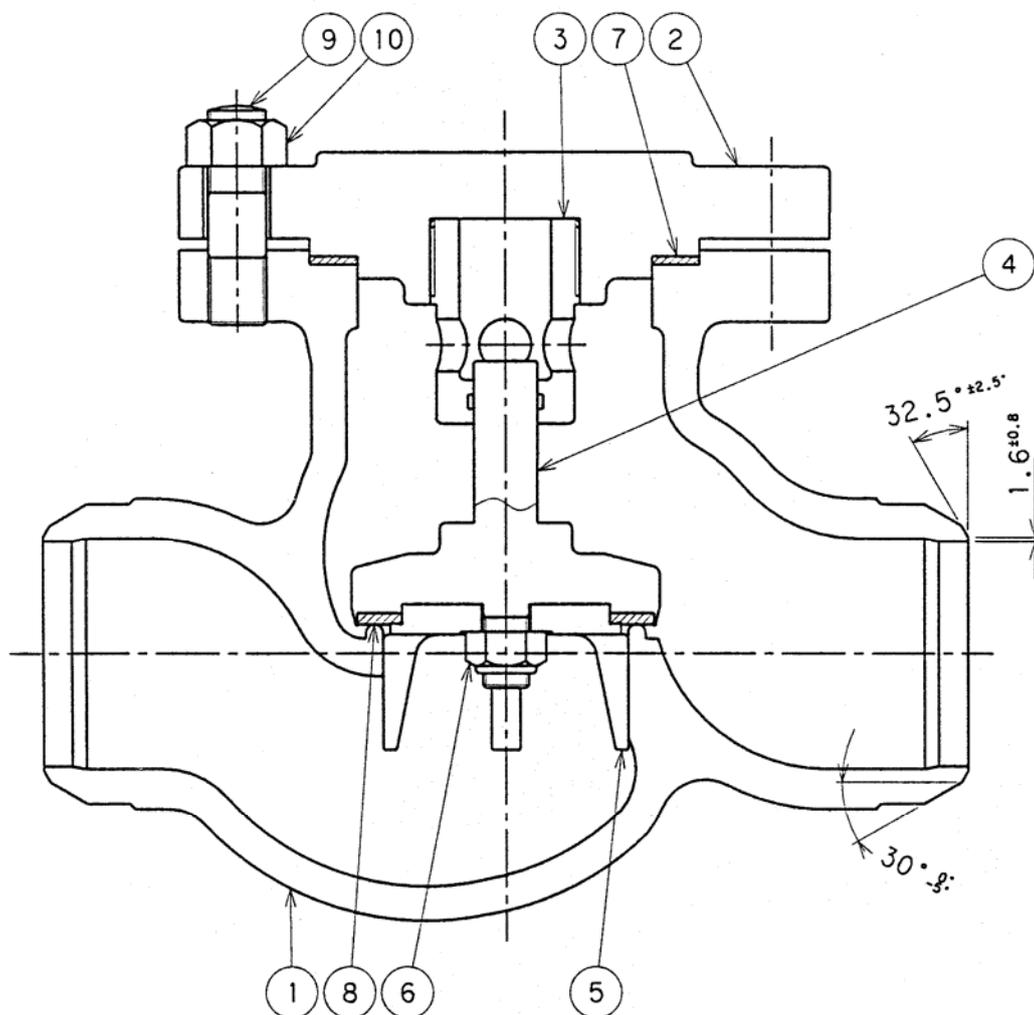
(2) PV-840BE(65A、80A、100A)



(3)

10	ナット	S20C	8	
9	挿入ミボルト	S25C	8	
8	シートパッキン	PTFE	1	
7	ガスケット	PTFE	1	
6	U-ナット	SUS304	1	
5	下部ガイド	SUS304	1	
4	弁体	SUS304	1	
3	プッシュ	S25C	1	
2	ボンネット	S25C	1	
1	ボディ	SCPH2	1	
No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS

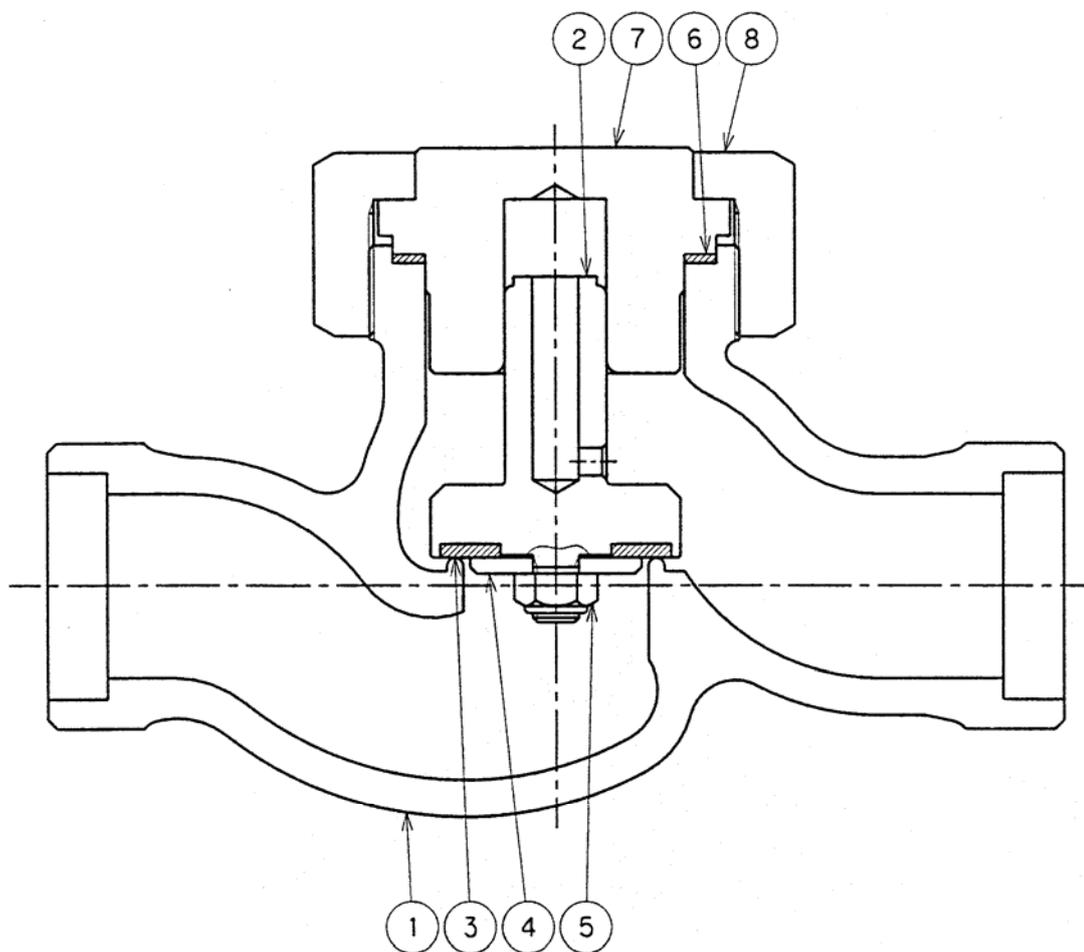
(3) PV-840BEBW



(4)

10	ナット	S20C	8	
9	槽込ミボルト	S25C	8	
8	シートパッキン	PTFE	1	
7	ガスケット	PTFE	1	
6	U-ナット	SUS304	1	
5	下部ガイド	SUS304	1	
4	弁体	SUS304	1	
3	ブッシュ	S25C	1	
2	ボンネット	S25C	1	
1	ボディ	SCPH2	1	
No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS

(4) PV-840BESW



8	押エナット	S25C	1	
7	ボンネット	S25C	1	
6	ガスケット	PTFE	1	
5	U-ナット	SUS304	1	
4	ワッシャー	SUS420J2	1	
3	シートパッキン	PTFE	1	
2	弁体	SUS420J2	1	
1	ボディ	SCPH2	1	
No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS

本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(TEL) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲 府 工 場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(TEL) 055-285-0111	(Fax) 055-285-7175
札幌営業所	(TEL) 011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	名古屋営業所	(TEL) 052-951-3860 (Fax) 052-951-3862
仙台営業所	(TEL) 022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	大阪営業所	(TEL) 06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718
東京営業所	(TEL) 03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	九州営業所	(TEL) 093-921-0981 (Fax) 093-921-0984